
日医特定健康診査システム

ORCA PROJECT

インストールマニュアル

1.0.1 版

2008 年 5 月 26 日

目次

目次	2
前書き	3
特定健康診査について	3
日本医師会総合政策研究機構 ORCA プロジェクトについて	4
登録商標および製品名に関して	5
ソフトウェアライセンス	6
はじめに	7
本書について	7
概要	7
対象読者	7
書体の規則	7
マニュアルの構成	8
インストール・ガイド	8
運用マニュアル（特定健診ソフトウェア・システム管理ソフトウェア）	8
本ソフトウェアの概要	9
本ソフトウェアの構成	10
特定健診ソフトウェア	10
システム管理ソフトウェア	10
本ソフトウェアの動作要件	11
オペレーティングシステム	11
ハードウェア	11
ネットワーク	11
ソフトウェア	12
1. インストール（Windows）	14
1.1. 必要なソフトのインストール	14
1.1.1. Java Runtime Enviroment (JRE) のインストール	14
1.1.2. Adobe Reader のインストール	19
1.1.3. 日医特定健康診査システムのインストール	24
1.1.4. 日医特定健康診査システムの初期設定	29
1.1.5. インストール（Debian）	32
1.2. プリンターについて	34
1.3. アンインストール	35
1.3.1. 日医社特定健康診査システムのアンインストール	35
1.3.2. Firebird 1.5/1.0 のアンインストール	39

前書き

特定健康診査について

平成 20 年 4 月から、医療保険者（国保・被用者保険）が、満 40～74 歳の加入者（被保険者・被扶養者）を対象として、特定健康診査等実施計画に定めた内容に基づき計画的に実施する、内臓脂肪型肥満（通称：メタボリックシンドローム）に着目した検査項目での健康診査を、「特定健康診査（以下：特定健診）」という。

〈高齢者の医療の確保に関する法律〉

第二十条

保険者は、特定健康診査等実施計画に基づき、厚生労働省令で定めるところにより、四十歳以上の加入者に対し、特定健康診査を行うものとする。ただし、加入者が特定健康診査に相当する健康診査を受け、その結果を証明する書面の提出を受けたとき、又は第二十六条第二項の規定により特定健康診査に関する記録の送付を受けたときは、この限りでない。

※参照

特定健康診査・特定家保健指導の円滑な実施に向け手引き

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshho/iryouseido01/info03d.html>

健診データの電子的管理の整備に関するホームページ

<http://tokuteikenshin.jp/>

日本医師会総合政策研究機構 ORCA プロジェクトについて

日本医師会総合政策研究機構 ORCA (Online Receipt Computer Advantage) プロジェクト (以下: ORCA プロジェクト) は、誰もが自由に利用できる医療情報のネットワークを形成し、日本の医療現場の事務作業の効率化とコスト軽減を目指すと同時に国民に高度で良質な医療を提供することを目標とする日本医師会主導の医療現場 IT 化プロジェクトです。

プロジェクトで開発したソフトウェアおよびデータベースは無償で提供しています。

本ソフトウェアは ORCA プロジェクトの一環で開発されています。

※参照

日本医師会総合政策研究機構 ORCA 公式 WEB サイト

<http://www.orca.med.or.jp/>

登録商標および製品名に関して

本文書ならびに関連文書で用いられている登録商標および製品名は以下のとおりです。

AMD、AMD ロゴ、Athlon、AthlonXP、AthlonMP、Athlon64、Duron ならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

Acrobat および Acrobat Reader は、アドビシステムズ、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Debian は Software in the Public Interest, Inc. の登録商標です。

Firebird は Firebird Foundation Incorporated. の登録商標です。

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside Pentium、Xeon、Celeron、Pentium4、Pentium III ならびにその組み合わせはアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。

Java 及びすべての Java 関連の商標及びロゴは、米国及びその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

JDK は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Microsoft は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

Windows は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Eclipse は、開発ツールプロバイダのオープンコミュニティである Eclipse Foundation, Inc. により構築された開発ツール統合のためのオープンプラットフォームです。

その他、記載の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアライセンス

本ソフトウェアは、日医オープンソース使用許諾契約（第 1.0 版）の下に配布されます。

※参照

日医オープンソース使用許諾契約（第 1.0 版）

<http://www.orca.med.or.jp/orca/sengen/license.html>

本ソフトウェアを用いて、患者の医療情報および個人情報を取り扱う場合は、法令上の義務に従った上、利用者の責任において行っていただきますようお願いいたします。

本ソフトウェアおよび媒体を問わずこれに付属する全ての文書の内容や情報および構成は予告なく変更・改訂される場合があります。

※参照

個人情報の保護に関する法律

<http://law.e-gov.go.jp/htmldata/H15/H15H0057.html>

医療分野における個人情報保護について

<http://www.kantei.go.jp/jp/it/privacy/houseika/dai3/3siryou2.html>

医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第2版（平成19年3月）

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/03/s0301-12.html>

はじめに

本書について

概要

本書は、本ソフトウェアを運用および保守する上で必要な情報について説明したものです。本ソフトウェアの構成と、これらのソフトウェアで実現可能なことについて説明しています。

対象読者

本書は、特定検診にかかわる各種医療機関ならびに関連機関において、本ソフトウェアの運用保守を行うエンジニア、およびそれを利用する利用者の方を対象としています。

すべての読者が、Microsoft Windows および UNIX オペレーティングシステム、GUI アプリケーションの利用についての知識があることを前提にしています。

書体の規則

本書では、以下の書体の規則を使用します。

- ・*斜体*は、外部資料ならびに WEB サイト URL などの引用に使用します。
- ・**太字**は、強調に使用します。
- ・「home-dir」は、本ソフトウェアがインストールされたディレクトリを表します。デフォルトでは、このディレクトリは UNIX では「/home」、WindowsXp では「C:¥Program Files¥NITTOKU」WindowsVista では、「C:¥NITTOKU」です。

マニュアルの構成

本ソフトウェアのマニュアルは、本ソフトウェアに関する全般的な情報と、サポートされている利用方法や特定健康診査システムの構成方法を記載しています。本ソフトウェアには、次の資料が付属しています。

インストール・ガイド

この資料は、本ソフトウェアのセットアップの説明と、関連するソフトウェアのインストール手順を記載してあります。

運用マニュアル(特定健診ソフトウェア・システム管理ソフトウェア)

この資料は、本ソフトウェアの運用に関するマニュアルです。この資料には、本ソフトウェアを運用する上での注意点と、システム利用者向けの本ソフトウェアの利用のための情報が記載されています。

本ソフトウェアの概要

本ソフトウェアは、2008年4月より実施される特定健康診査において、健診時に入力される受診者・健診医療機関・医療保険者等の情報を、データ受診者（保険者等、請求・報告先）へ送信するためのファイルアーカイブである「HL7（HL7CDAR2）」へ変換するソフトウェアです。

本ソフトウェアは、主に日医標準レセプトソフトを利用する健診実施機関を対象として想定して開発されています。

また、本ソフトウェアはORCAプロジェクトの一環で開発されているオープンソースソフトウェアです。

本ソフトウェアの構成

本ソフトウェアは、次に示すコンポーネントによって構成されます。各コンポーネントの役割は以下のとおりです。

特定健診ソフトウェア

特定健診ソフトウェアは、特定健診において、健診機関での患者情報および健診結果の管理と、医療保険者への決済データおよび健診結果の電子的交換のためのファイルの生成をするソフトウェアです。特定健診機関単位での処理を行います。すべての特定健診で取り扱う健診情報に対応しています。JAVA 言語によって開発されています。

システム管理ソフトウェア

システム管理ソフトウェアは、特定健診ソフトウェアの管理を行う専用のソフトウェアです。特定健診機関の管理および複数の特定健診機関による共用の端末を用いた健診に対応しています。JAVA 言語によって開発されています。

本ソフトウェアの動作要件

本ソフトウェアの動作要件は以下のとおりです。

オペレーティングシステム

本ソフトウェアが対応するソフトウェアは以下のとおりです。

- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows Vista
- Debian GUN/Linux (Sarge および Etch) ¹ ※Sarge は環境により動作不可場合があります。

Linux 版につきましては、2008/5/16 現在インストールに対応しておりません。
現在、鋭意準備を進めておりますので、今しばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。

ハードウェア

本ソフトウェアが快適に動作するハードウェア要求は以下のとおりです。

- インテル Pentium® 4、インテル Centrino、インテル Core Duo プロセッサおよび AMD AthlonXP、AMD Athlon64、AMD Opteron プロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- 1GB 以上の RAM (OS 推奨要領が 1GB 以上の場合はそれに従う)
- 1GB 以上の空き容量があるハードディスク
- 1024*768 以上の画面解像度をサポートするディスプレイおよび 32bit 以上のビデオカード、GPU アクセラレーショングラフィックカード
- フロッピーディスク、CD-R/RW ドライブ、DVD±R/RW ドライブおよび USB フラッシュディスクなどのデータ保存媒体と接続可能なインターフェース
- 印刷を行うためのプリンター

ネットワーク

本ソフトウェアはネットワークレスで動作可能です。ただし、日医標準レセプトソフト²との連携を行う場合、以下のネットワーク要求を満たす必要があります。

- TCP/IP (ただし IPv4 のみ)

¹ Sarge のセキュリティチームによるサポートが 2008 年 4 月までであるため、Etch の利用を推奨します。

² 本ソフトウェアは日医標準レセプトソフトのバージョン 4 以上に対応しています。

ソフトウェア

本ソフトウェアが以下のソフトウェアがインストールされている必要があります。

- JAVA JRE (Java Runtime Environment) Version6 update3 以上もしくは JAVA JDK (Java Developer Kit) Version6 update3 以上の JAVAVM 実行環境
- Firebird Version 2.0.0 以上
- Adobe Reader6.0 以上 (マニュアル参照及び印刷時に必要になります。)

上記のソフトウェアがインストールされている場合でも、上記のバージョンより古い場合はプログラムが正常に動作しない恐れがあるので、新しいバージョンをインストールいただくようお願いします。

医見書・給管鳥等をお使いのユーザ様は、医見書等で使用しているデータベース Firebird 1.5 (Windows XP) や、他の一部のシステムで利用されている Firebird 1.0 とは同時に使用できません。日医特定健康診査システムをインストールする前に Firebird 1.5 や Firebird 1.0 をアンインストールする必要があります。アンインストール方法については、このマニュアル中 (P. 38～) で解説してありますので、それに従ってください。

※医見書は Firebird 2.0 でも動作いたします。

また、Java (JRE) に関しては新しい Java (JRE) のインストールを行いますが、他のオンラインバンキングや電子申請等で指定されている Java (JRE) のバージョンと異なる場合、オンラインバンキング等が使用できなくなる恐れがありますので、銀行/行政機関等の情報を確認/問い合わせをし、注意の上でインストールをお願いします。

※参照

Java ソフトウェアの無料ダウンロード

<http://www.java.com/ja/>

Firebird - The RDBMS that's going where you're going

<http://www.firebirdsql.org/>

本ソフトウェアで扱う電子的交換のためのファイルについて

本ソフトウェアが対応する、HL7 ファイル形式 (HL7CDAR2) に関する情報は以下のとおりです。HL7 ファイルの詳細に関しては、厚生労働省および関連機関の Web サイトにて掲載されている資料に基づいて実装されています。

[1] 厚生労働省、標準的な健診・保健指導プログラム（確定版）」, 2007

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/seikatsu/index.html>

[2] 厚生労働省、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshho/iryouseido01/info03d.html>

[3] 財団法人地方自治情報センター、全国地方公共団体コード

<http://www.lasdec.nipon-net>

[4] 健診データの電子的管理の整備に関するホームページ

<http://tokuteikenshin.jp/>

[5] システム開発者のための補足資料

<http://tokuteikenshin.jp/update/2-1/latest/systemdoc-apppe20080501.pdf>

1. インストール (Windows)

1.1. 必要なソフトのインストール

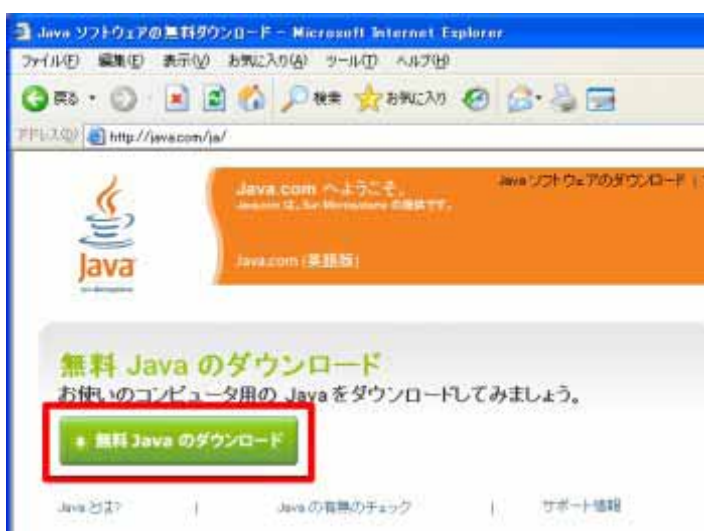
1.1.1. Java Runtime Enviroment(JRE)のインストール

日医社特定健康診査システムを実行するのに必要な Java(JRE)をインストールします。JRE1.5 等の古い Java(JRE)では動作しませんので、最新の JRE6 をインストールしてください。

以下のサイトにアクセスし、Java(JRE)をダウンロードします。

<http://java.com/ja>

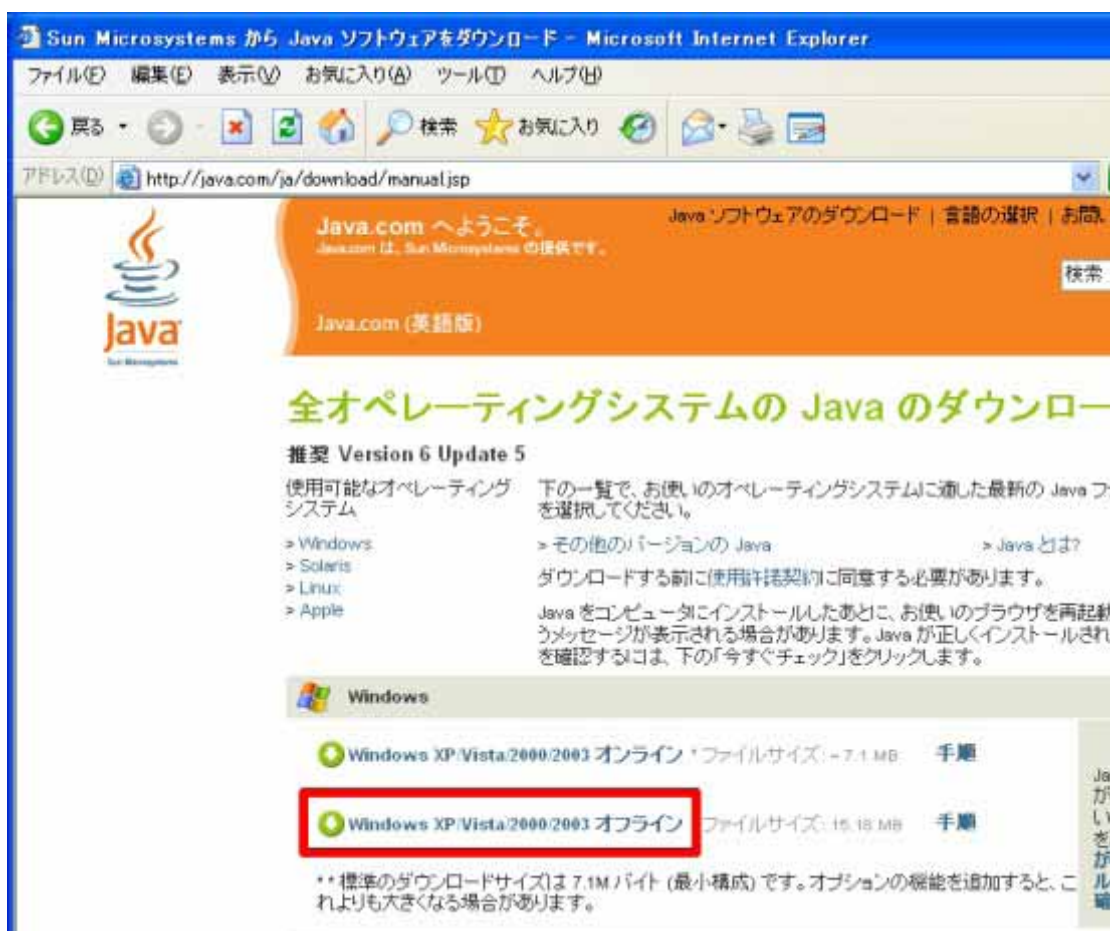
「無料 Java のダウンロード」ボタンを押してダウンロードに進みます。



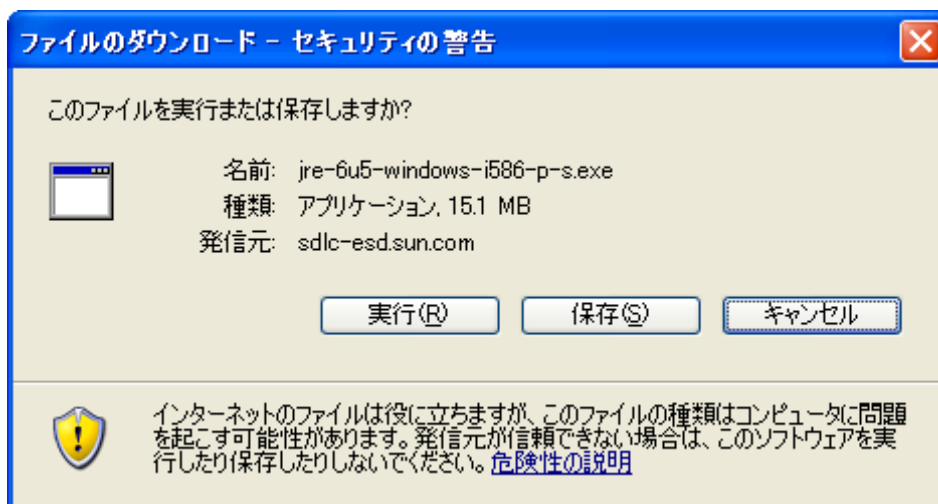
「すべての Java を見るにはここをクリック」を押して進んでください。



「Windows XP/Vista/2000/2003 オフライン」をクリックしてください。

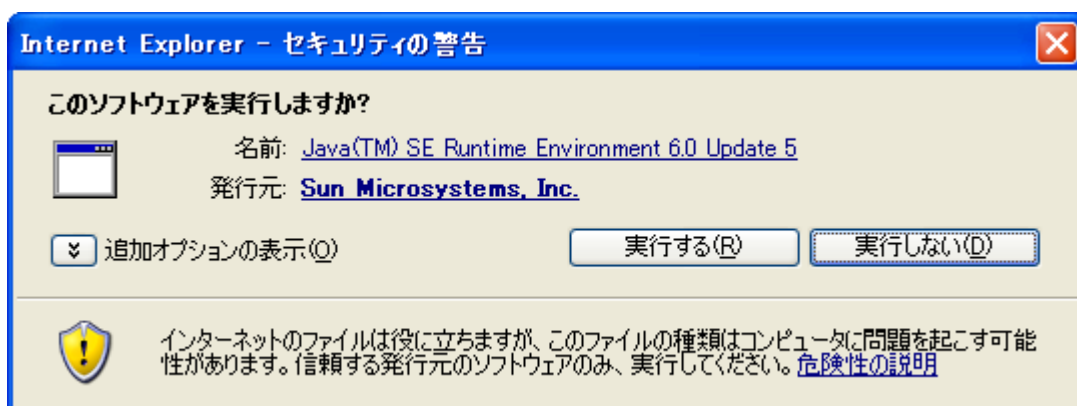


ファイルのダウンロードに関する警告が出るので、「実行」をクリックしてください。



ダウンロードしたファイルを本当に実行してよいか、セキュリティ警告が出ますので「実行する」ボタンを押してください。

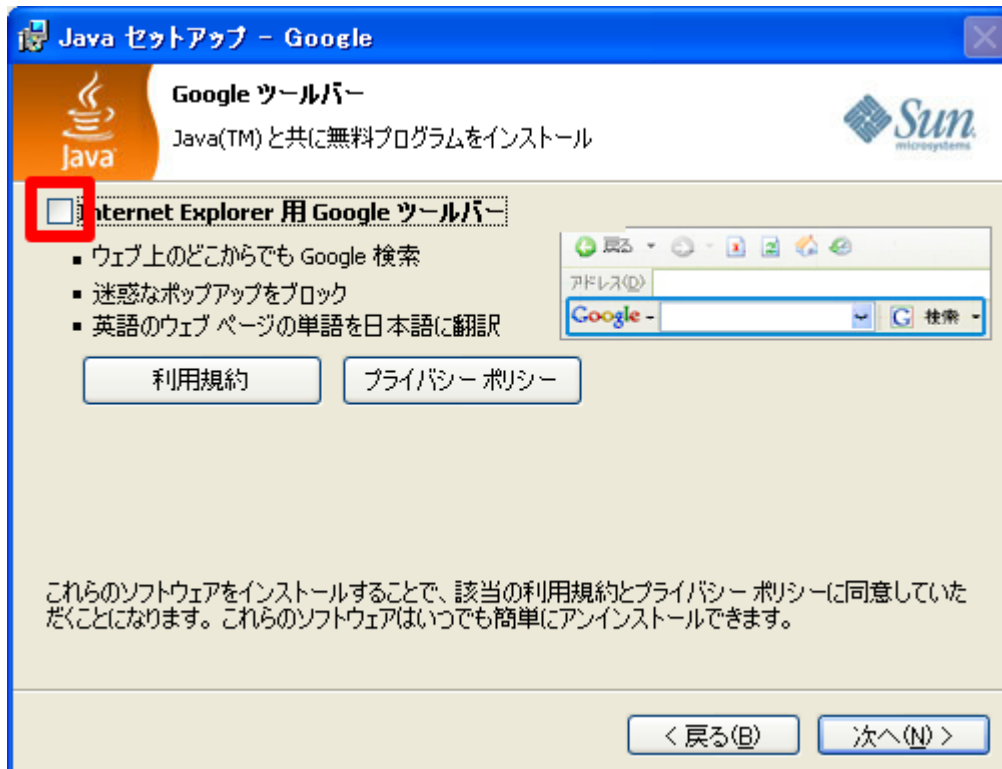
※セキュリティ的に問題がないか確認を行うのであれば、発行元の「Sun Microsystems, Inc」をクリックして、デジタル署名に問題がないことを確認のうえで、「実行する」ボタンを押してください。



「同意する」ボタンを押して先に進めてください。



途中で、「Internet Explorer 用 Google ツールバー」のセットアップ画面が出てきた場合は「Internet Explorer 用 Google ツールバー」のチェックを外した上で、「次へ」ボタンを押してください。（好みに応じて、チェックしたままにしても構いません）



しばらく、インストール処理が行われ、正常に Java がインストールされると次のような画面が出ます。これ

で Java のインストールについては完了です。



1.1.2.Adobe Reader のインストール

日医特定健康診査システムで作成される PDF ファイルを閲覧/印刷するのに必要な Adobe Reader をインストールします。

すでに Adobe Reader 6 以上のバージョンがインストールされている場合は、以下の最新版 Adobe Reader のインストール手順は、必ずしも必要ではありません。インストールしない場合は、このセクションを飛ばして、次のセクションに進んでください。

以下のサイトにアクセスして、Adobe Reader をダウンロードします。

<http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/readstep2.html>

Adobe Reader のダウンロードページが表示されます。

もし、「無償 Google ツールバー」の項目が表示されている場合は、「無償 Google ツールバー」のチェックを外した上で、「今すぐダウンロード」ボタンを押してください。



Internet Explorer を使用している場合は、ブラウザ上部に Active X コントロールのインストールを促される場合がありますが、下のほうにある「ダウンロードが開始しない場合は、ここをクリックしてください」をクリックして進めてください。

※Active X コントロールを利用したインストールも可能ですが、その際は Active X コントロールのセキュリティ/アップデートに十分ご注意ください。

Adobe - Adobe Readerダウンロードのお礼 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 停止 印刷 検索 お気に入り

アドレス(D) http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/readstep2_servefile.html?option=full&order=1&

このサイトには、次の ActiveX コントロールが必要な可能性があります: 'Adobe Systems, Incorporated' からの...

アカウント | ショッピングカート | お問い合わせ | 日本(変更)

ホーム | ソリューション | 製品 | サポート | コミュニティ | 会社情報 | ダウンロード

ホーム / 製品 /

Adobe Reader

ダウンロードの際のご注意

インストールを開始するには、ブラウザウィンドウ上部に表示される情報バーのクリックが必要となる場合があります。

このページの上部にバーが表示されたら、バーをクリックしてインストールします。

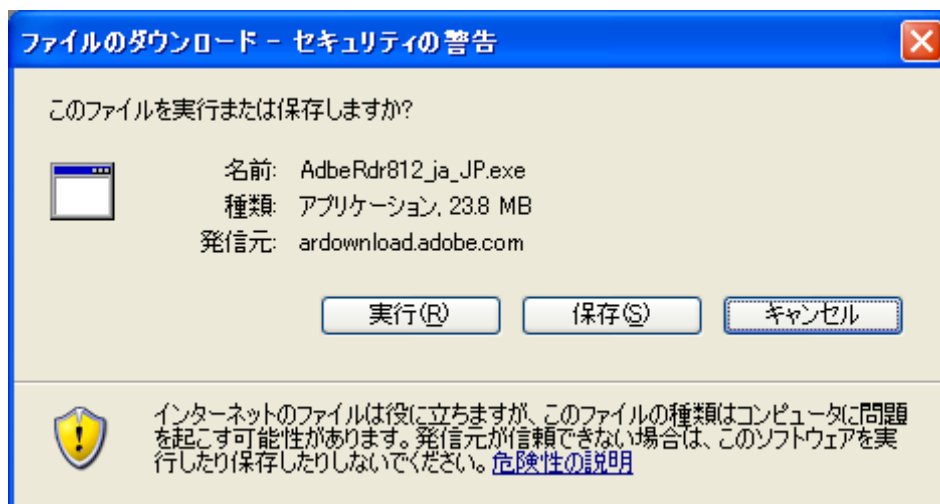
バーをクリックすると、ダウンロードは自動的に開始されます。
ダウンロードが開始しない場合は、**ここをクリックしてください。**

実行と保存のいずれかを選択するダイアログボックスが表示された場合は、「実行」をクリックしてください。

詳細

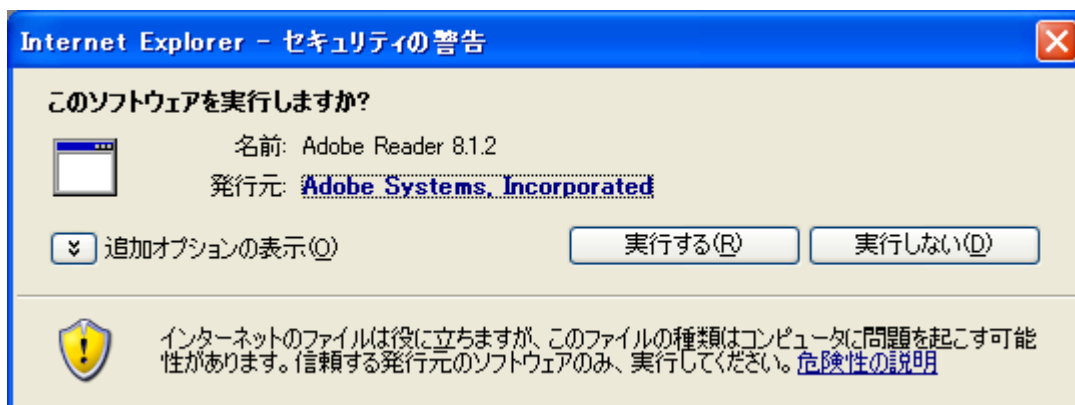
Adobe
モバイル
Adobe
Adobe

ファイルのダウンロードに関する警告が出るので、「実行」をクリックしてください。

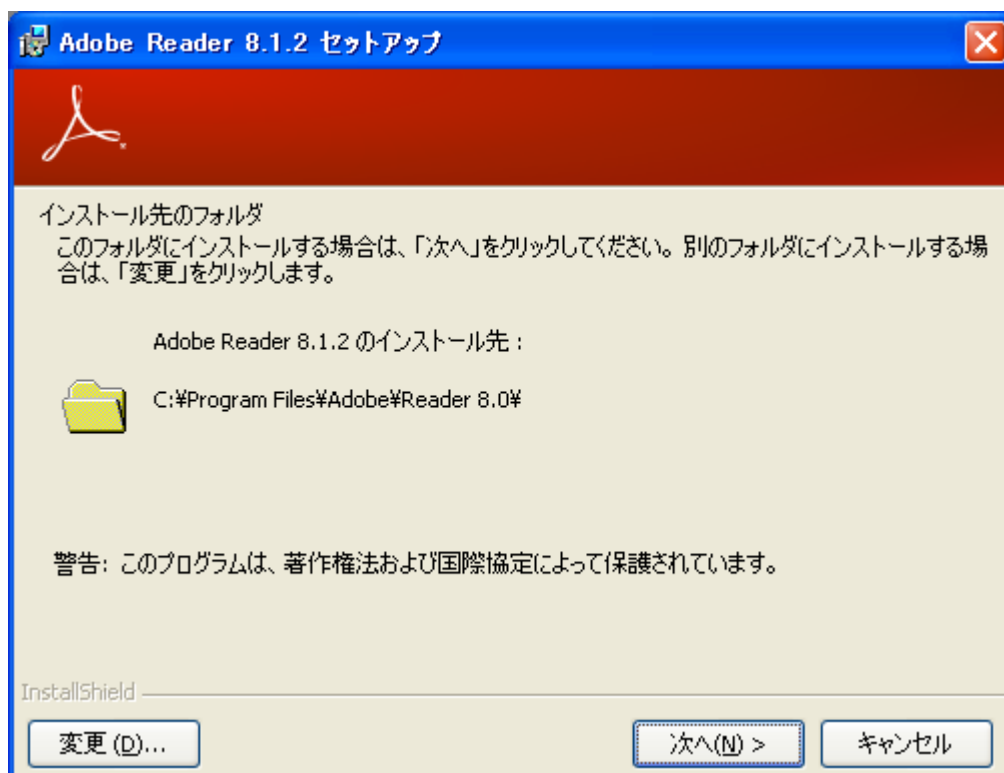


ダウンロードしたファイルを本当に実行してよいか、セキュリティ警告が出ますので「実行する」ボタンを押してください。

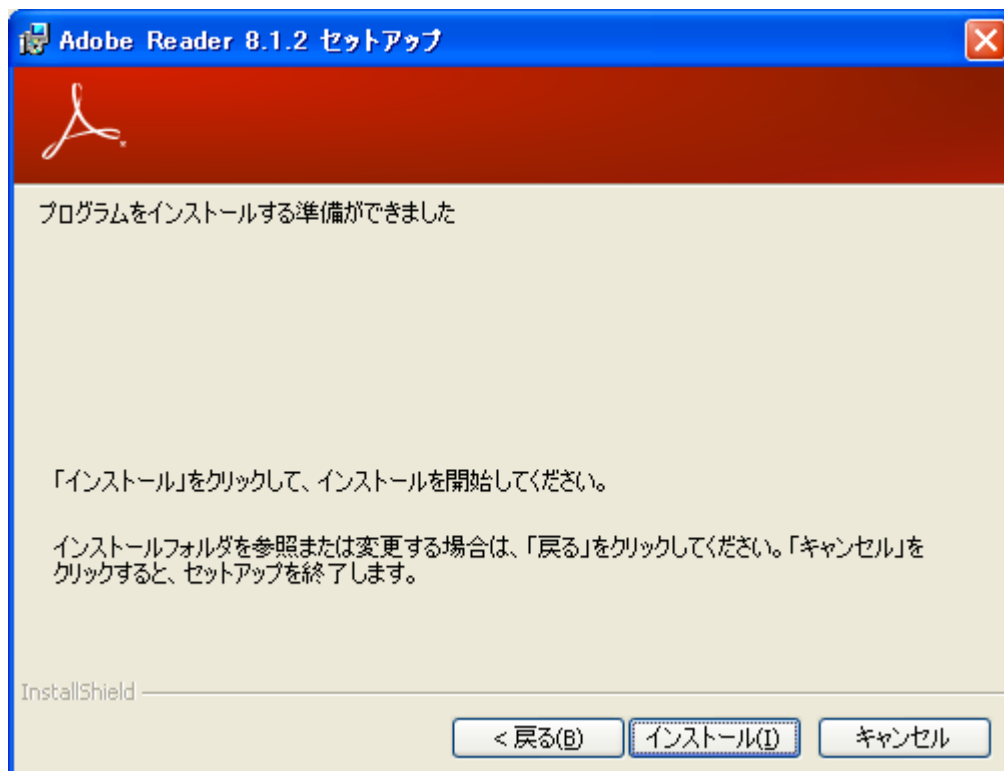
※セキュリティ的に問題がないか確認を行うのであれば、発行元の「Adobe Systems, Incorporated」をクリックして、デジタル署名に問題がないことを確認の上で「実行する」ボタンを押してください。



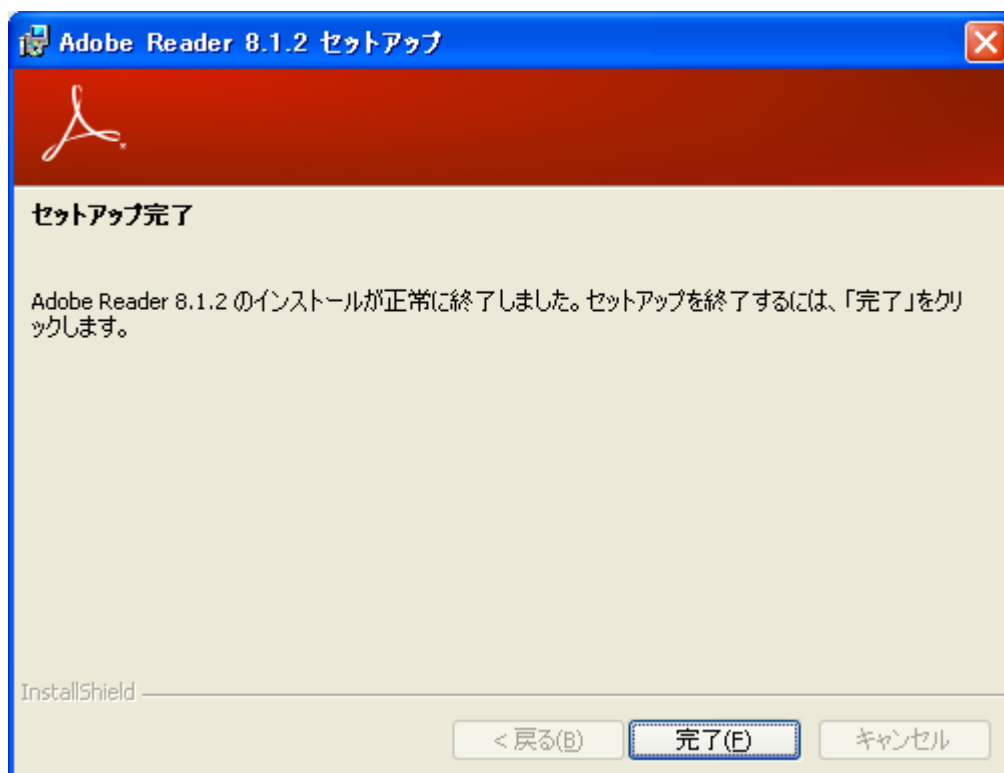
しばらく待つと、インストール先をたずねるセットアップ画面が出てきますのでインストール先を確認した上で、「次へ」ボタンを押してください。



「インストール」ボタンを押して、インストールを行ってください。



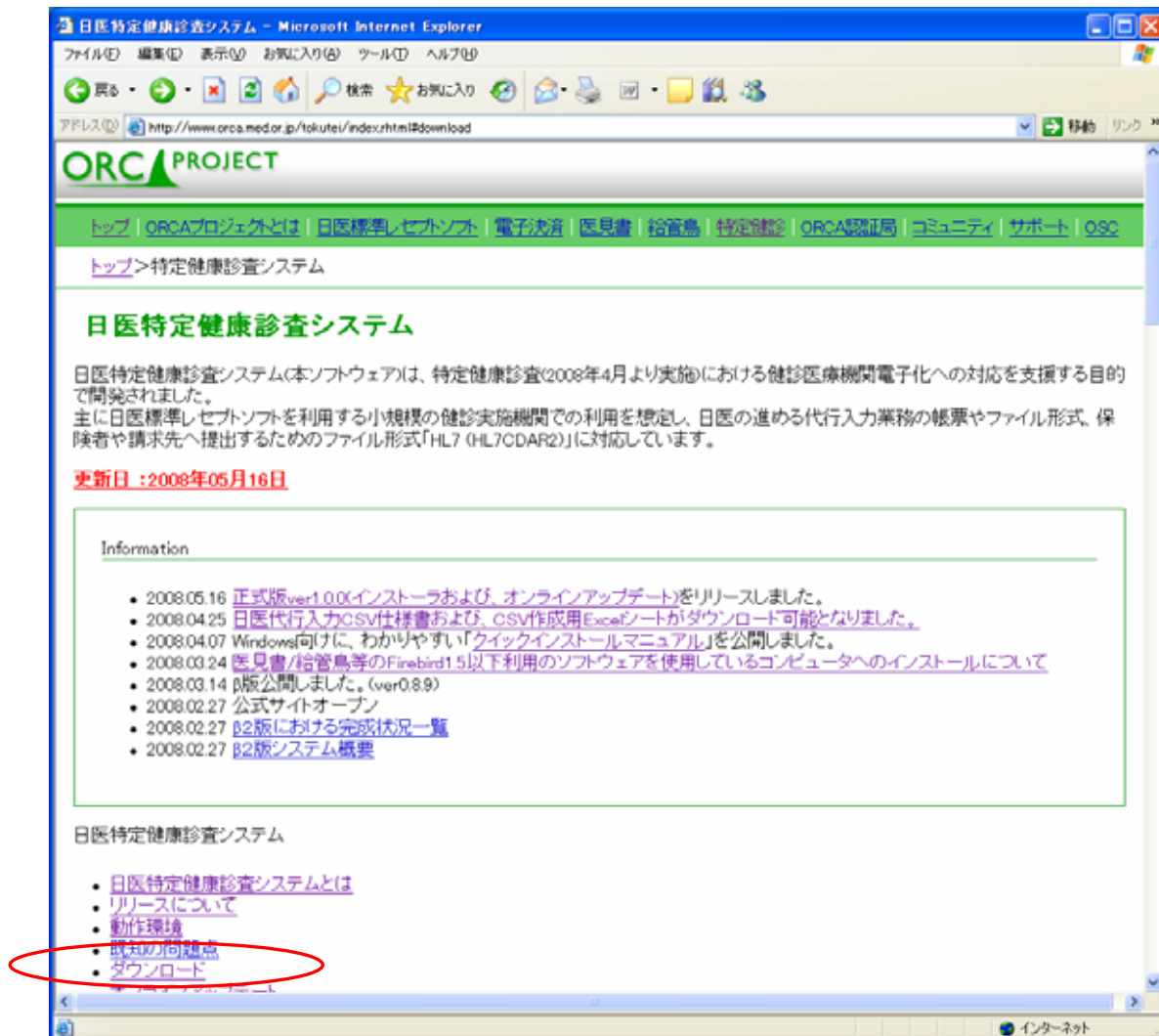
インストール処理が行われ、正常に Adobe Reader がインストールされると次のような画面が出ます。これで Adobe Reader のインストールについては完了です。



1.1.3.日医特定健康診査システムのインストール

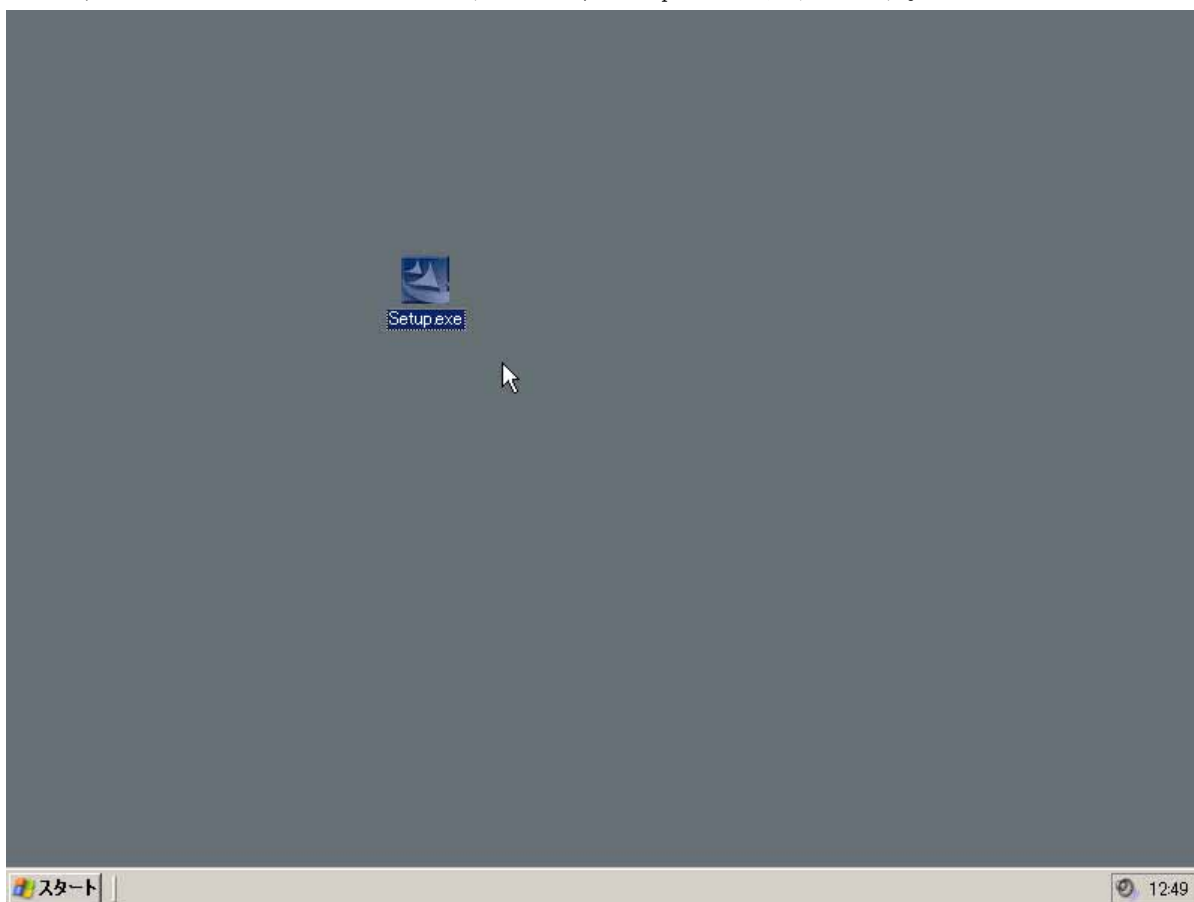
日医特定健康診査システムの本体プログラムをインストールします。

最初にORCAプロジェクトの特定健診サイト<http://www.orca.med.or.jp/tokutei/index.rhtml>よりセットアップをダウンロードします。

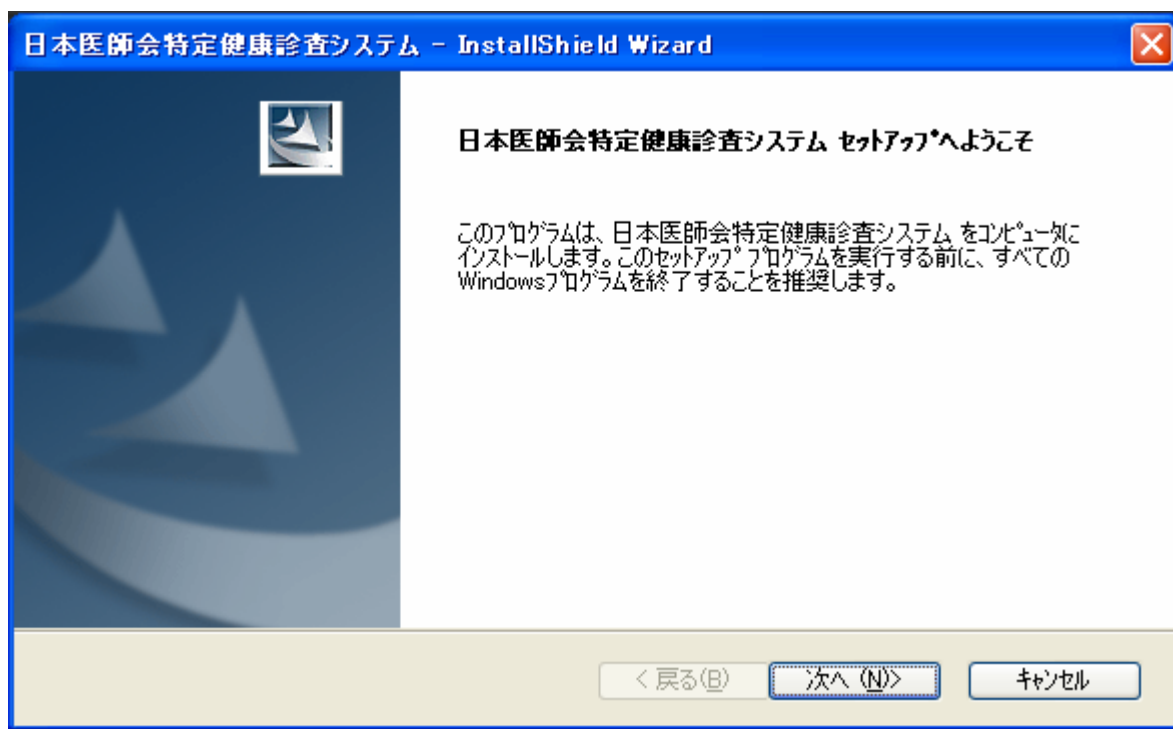


ダウンロード後、ファイルをダブルクリックすることで、デスクトップにフォルダが生成されますので、フォルダ内の Setup. exe を実行します。

日医特定健康診査システムをインストールするには、Setup.exe を実行します。



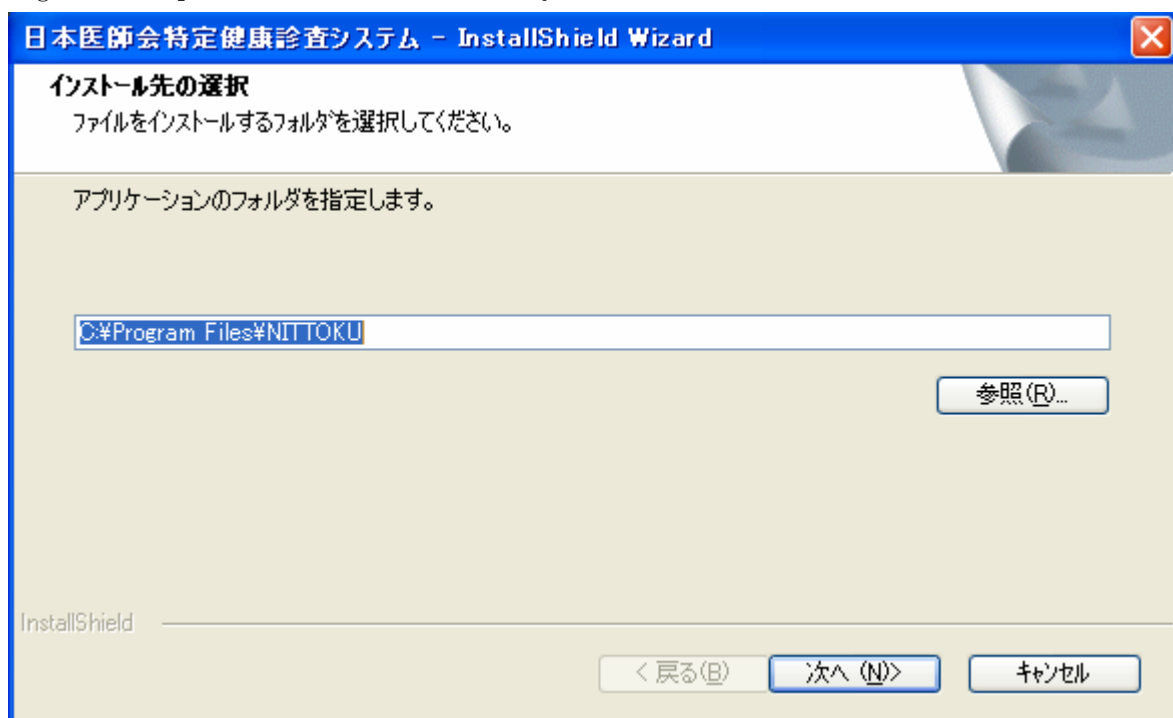
「次へ」を押してインストールを進めます。



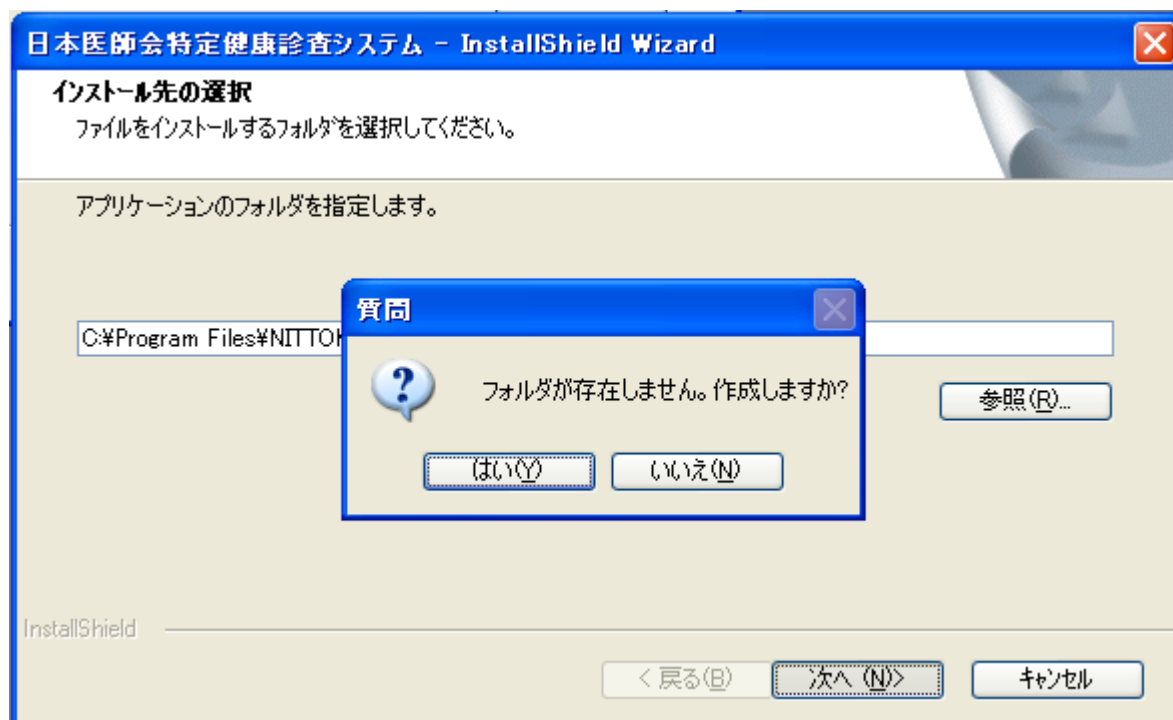
インストール先フォルダをたずねられますので、変更する必要がなければそのまま、「次へ」を押してください。

※インストールフォルダ名などに日本語や全角文字を使用しないでください。

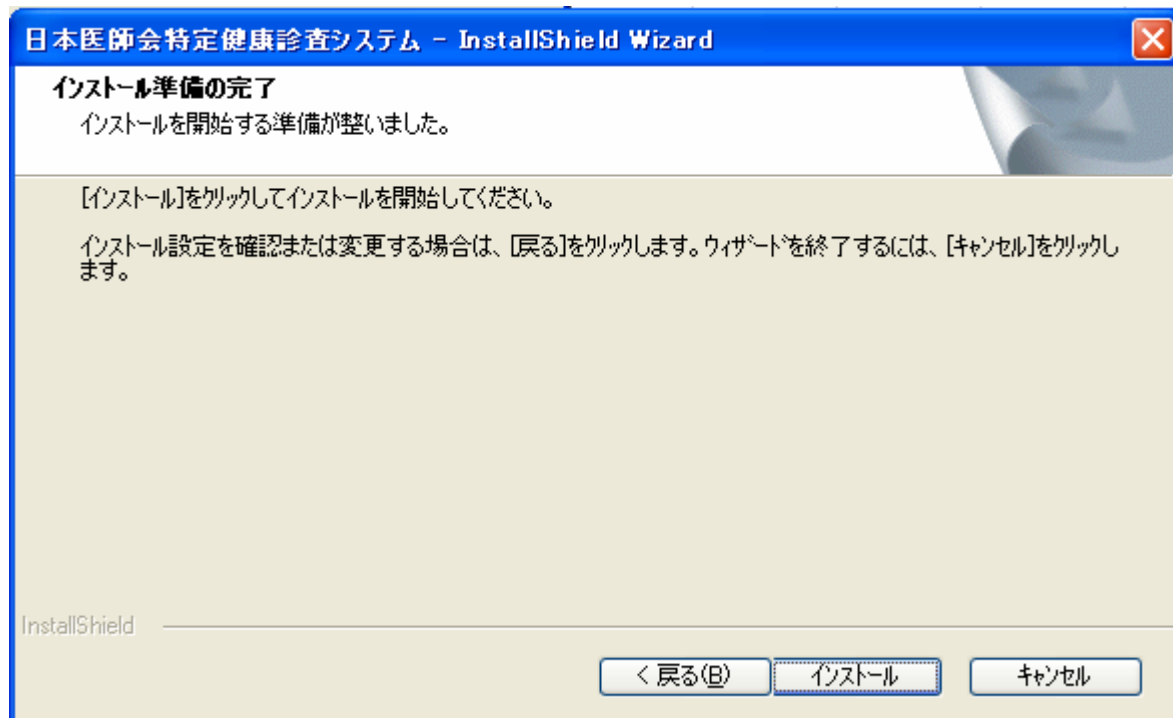
※Windows XP での標準インストール先は「C:\Program Files\NITTOKU」フォルダですが、Windows Vista の標準インストール先は「C:\NITTOKU」です。Windows Vista の場合はトラブルの原因となりますので、「C:\Program Files」にインストールできません。



フォルダの作成をたずねられたら、「はい」を選択します。



インストールを開始するために、「インストール」ボタンを押します。



ここで、Firebird データベースのインストールを尋ねるダイアログが、出てきますので、Firebird2.0 がインストールされていないのであれば、「はい」を押してください。（もしインストールされていた場合は、既に Firebird 2.0 がインストールされている旨のメッセージが出ます。）

もし、「Firebird 1.5 のサービスを停止して、Firebird 2.0 をインストールしますか？」のメッセージが出た場合は、Firebird 1.5 がアンインストールされていないので、このマニュアルの前のセクションに戻って、Firebird のアンインストール作業を行ってください。



正常に日医特定健康診査システムがインストールされると、次のような画面が出ます。これで、全てのソフトのインストールが完了しました。日医特定健康診査ソフトウェアを利用するためには、初期設定を行う必要がありますので次ページ以降で解説してあります。



1.1.4.日医特定健康診査システムの初期設定

日医特定健康診査システムは、主に下記の2種類のソフトで構成されています。

***システム管理者用ソフトウェア**

***日医特定健康診査ソフトウェア**

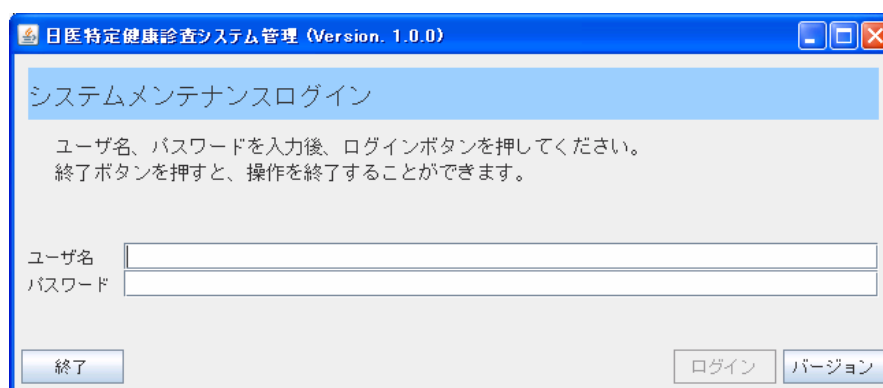
日医特定健康診査ソフトウェアを利用するためには、まず健診機関情報をシステム管理ソフトウェアで登録する必要があります。

スタートメニューを開き、「日医特定健康診査システム」→「システム管理者用ソフトウェア」を起動します。

*ユーザ名 : Admin

*パスワード : Admin

でログインしてください。ユーザ名/パスワードの頭文字は大文字です。



「健診機関情報メンテナンス」をクリックします。



健診機関情報メンテナンス画面が現れますので、「追加」ボタンを押してください。

日医特定健康診査システム管理 (Version. 1.0.0)

健診機関情報メンテナンス

複数の機関情報の追加、変更、削除を行います。

健診機関番号	健診機関名称	日医標準レセプトソフト連携

戻る 追加 変更 削除

健診機関情報を入力し、「登録」ボタンを押します。
その後、「戻る」ボタンを押してシステム管理者用ソフトウェアを終了してください。

日医特定健康診査システム管理 (Version. 1.0.0)

機関情報の追加

機関情報の追加を行います。値を編集後、登録ボタンを押して下さい。
医師会等できりまとめて送付される場合以外は、送付元機関番号には、健診機関番号と同じ番号を入れてください。

機関情報		日レセ連携情報	
特定健診機関番号	1234567890 (半角数字10桁)	日医標準レセプトソフトと連携する	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
送付元機関番号 (請求事務代行含む)	1234567890 (半角数字11桁以下)	IPアドレス	(IPv4形式)
名称	日医健診センター (全角のみ200文字以内)	ポート番号	(半角数字6桁以下)
郵便番号	1138621 (半角数字7桁)	データベース名	(半角英数字のみ)
所在地	東京都文京区本駒込2-28-16 (全角のみ200文字以内)	プロトコル	(半角英数字のみ)
地番方書		データベースのユーザID	(半角英数字のみ)
電話番号	0312345678 (半角数字11桁以下)	データベースユーザのパスワード	(半角英数字のみ)
		日レセのユーザID	(半角英数字のみ)
		日レセのパスワード	(半角英数字のみ)
		文字列のエンコーディング	(半角英数字のみ)
凡例 <input type="checkbox"/> 入力必須項目		<input type="button" value="接続テスト"/>	

戻る 登録

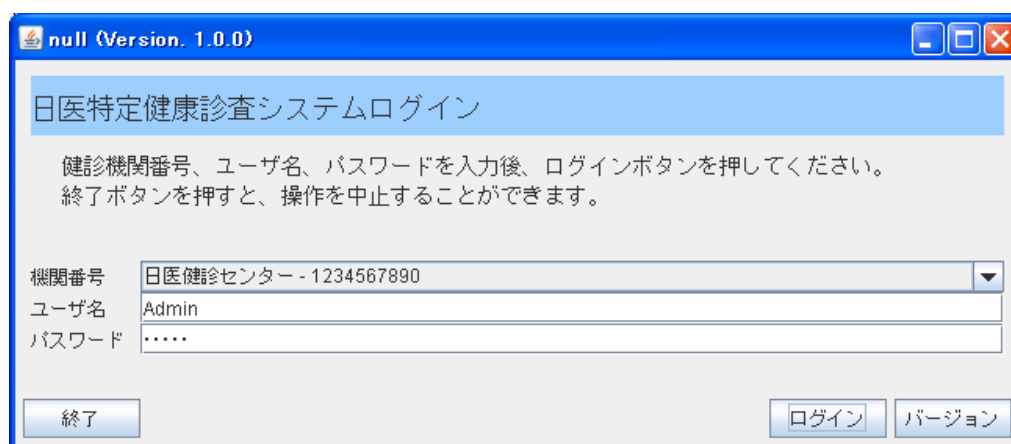
スタートメニューを開き、「日医特定健康診査システム」→「日医特定健康診査ソフトウェア」を開きます。

さきほど登録した健診機関番号が、表示されていることを確認し、ログインしてください。

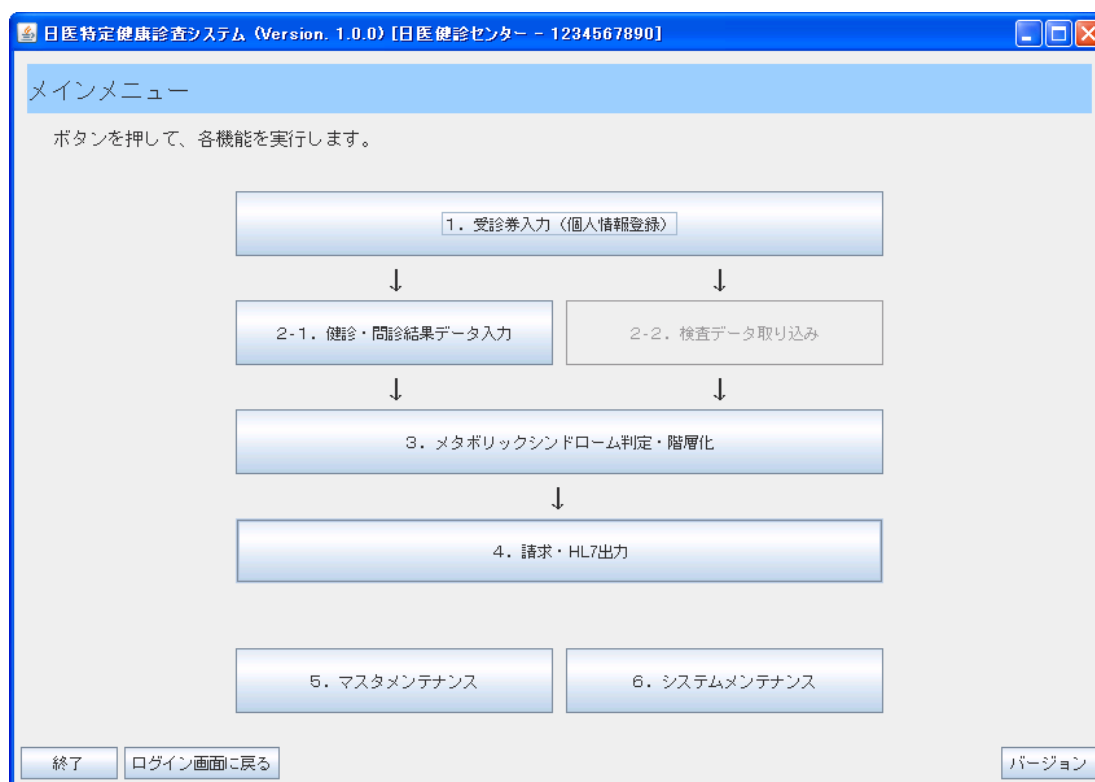
*ユーザ名 :Admin

*パスワード:Admin

ユーザ名/パスワードの頭文字は大文字です。



ログインに成功すると、特定健診システムの画面が表示され、利用できるようになります。



次回からは、「日医特定健康診査ソフトウェア」を起動することで、利用できます。

1.1.5.インストール(Debian)

特定健診ソフトウェアをインストールする際において、必要とされる環境は以下の通りです。

- Debian etch または sarge
- JRE 6
- Firebird 2
- Adobe Reader6.0 以上 (マニュアル参照及び印刷時に必要になります。)

※必要な環境

○Debian について

- 日本語環境がインストールされている必要があります。

○Java について

- Java SE Runtime Environment (JRE) 6 Update 4 以降を Sun Microsystems よりダウンロードしてください。
JRE 6 Update 3 についても動作を確認していますが、セキュリティの観点から Update 4 以降の使用を推奨いたします。

○FireBird について

- デフォルトでは firebird というユーザで動くようになっていますが、root 権限で動くようにしておいてください。

Firebird のインストール時に以下のようなエラーメッセージが表示されることがあります。

```
Starting Firebird server: /opt/firebird/bin/fbmgr.bin: error while loading shared libraries:
libstdc++.so.5: cannot open shared object file: No such file or directory

Please enter new password for SYSDBA user: masterkey

/opt/firebird/bin/gsec: error while loading shared libraries: libstdc++.so.5: cannot open shared
object file: No such file or directory
```

この場合、libstdc++5 パッケージが不足していて Firebird を起動することが出来ませんので、インストールを中断し、以下のようにして libstdc++5 パッケージを導入してください。


```
aptitude install libstdc++5
```

- Firebird のインストールの際に、最後に Firebird の管理ユーザである「SYSDBA」ユーザに対するパスワードを設定するよう、以下のようなメッセージが表示されます。

```
Please enter new password for SYSDBA user:
```

パスワードは「**masterkey**」とするようにしてください。

※インストール

Nittoku.tar.gz より、「NITTOKU」というディレクトリと「install.sh」というスクリプトファイルを解凍してください。

その後「./install.sh」をコンソールより実行してください。

1.2. プリンターについて

本システムにて印刷を行うには事前にプリンターを設置し、プリンタードライバーをインストールしておく必要があります。

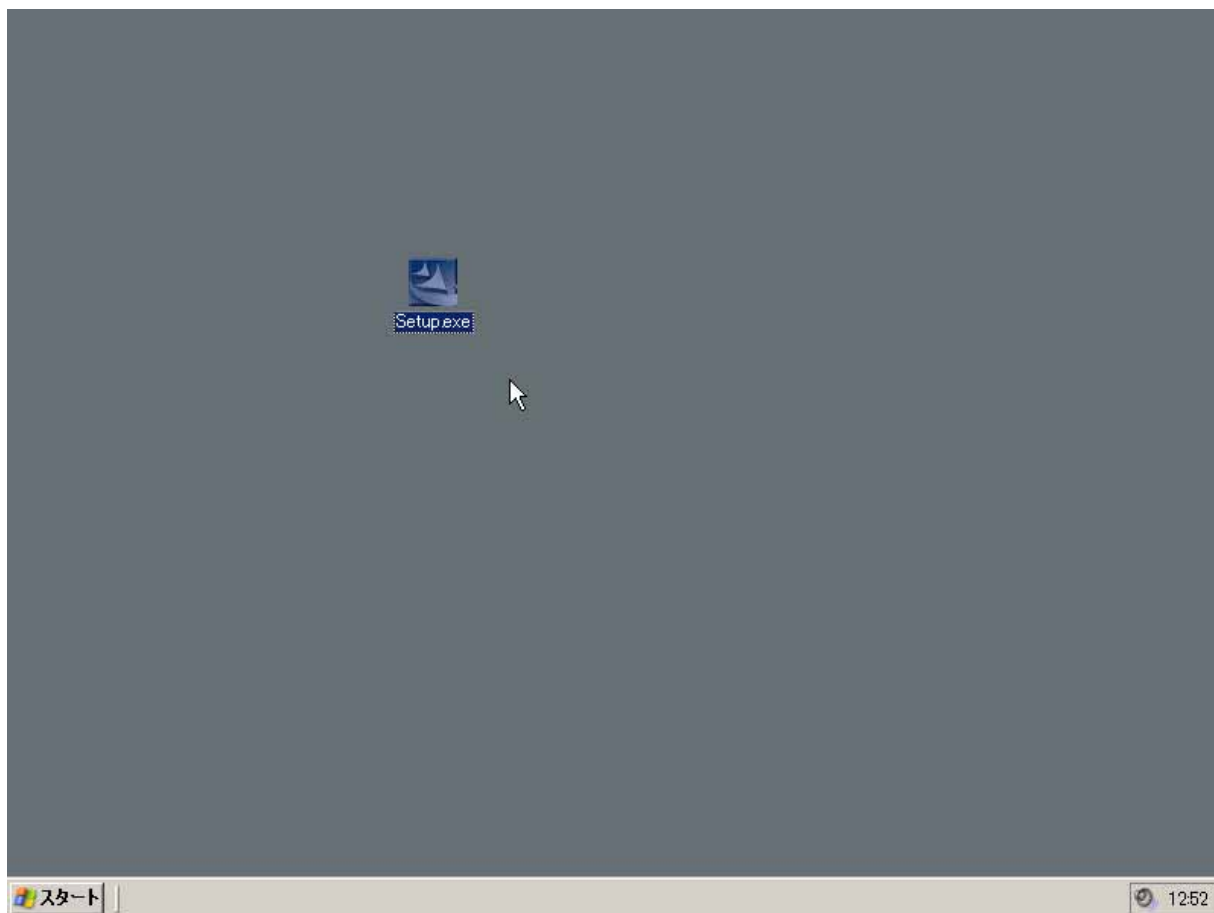
プリンターの設置、プリンタードライバーのインストールに関しては、プリンターに付属のマニュアルにしたがって、設定を行ってください。

※印刷を行うには Adobe Reader6.0 以上が必要になります。

1. 3. アンインストール

1.3.1. 日医社特定健康診査システムのアンインストール

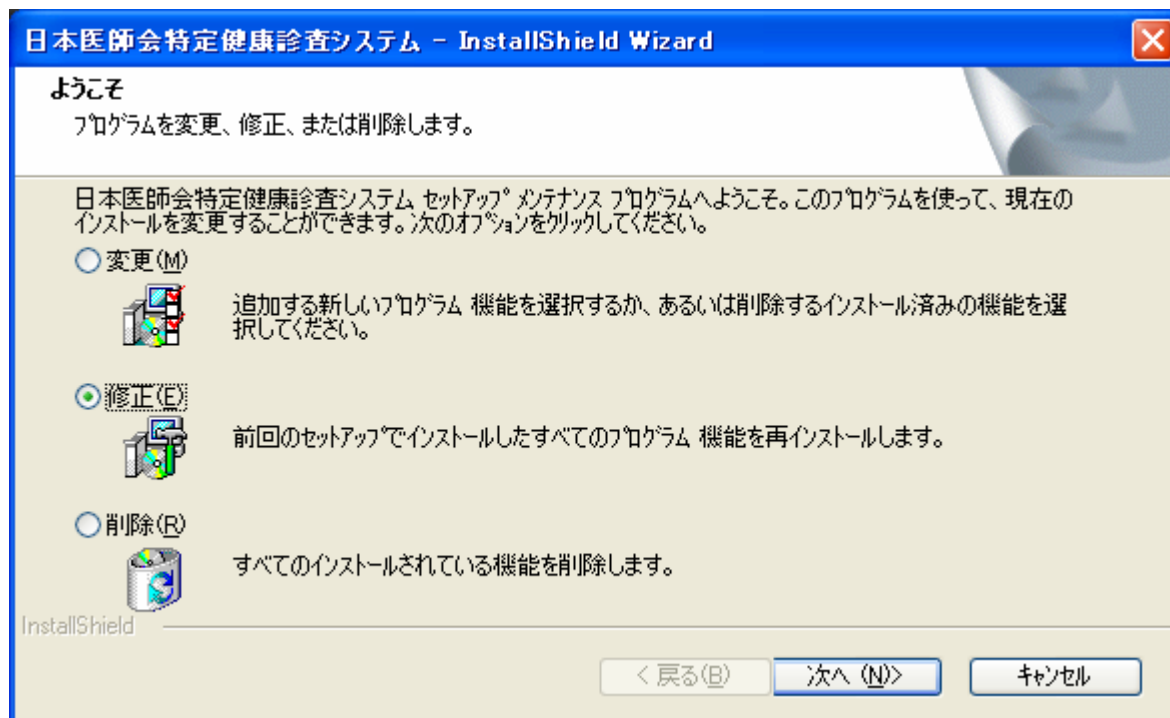
インストーラを用いて、既存の日医特定健康診査システムの変更・修復インストールを行い、またアンインストールを行うことができます。Setup.exe をクリックし実行します。



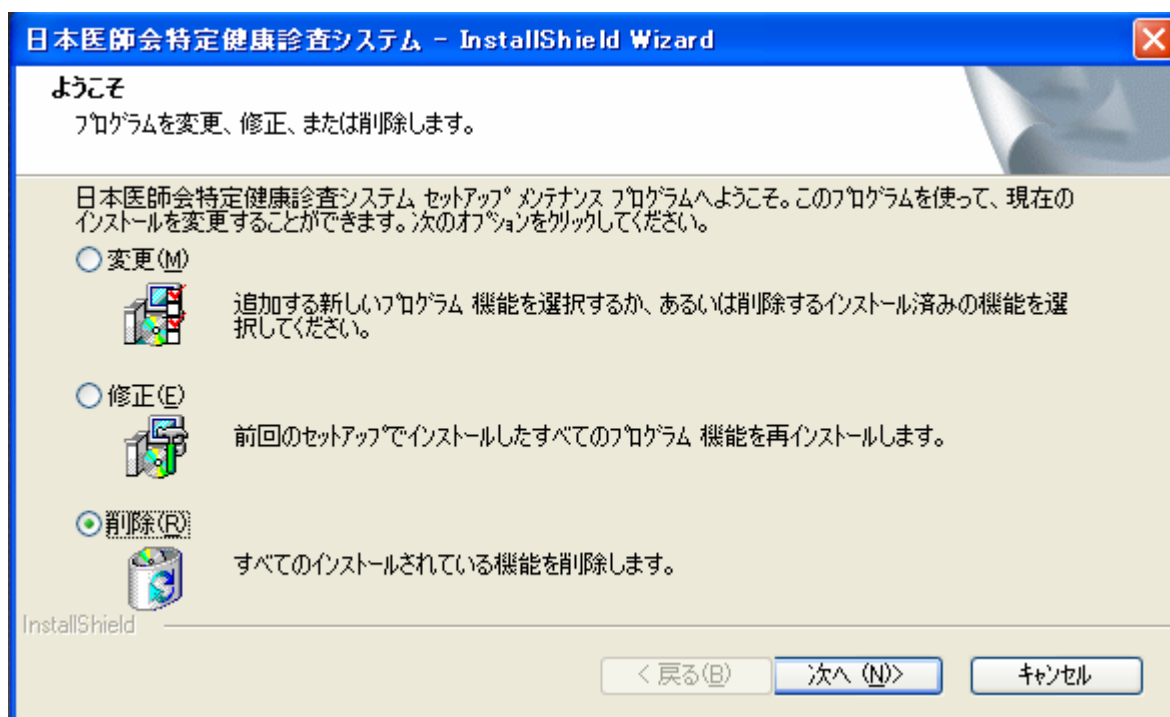
日医特定健康診査システムの変更・修正・削除の選択画面が表示されます。



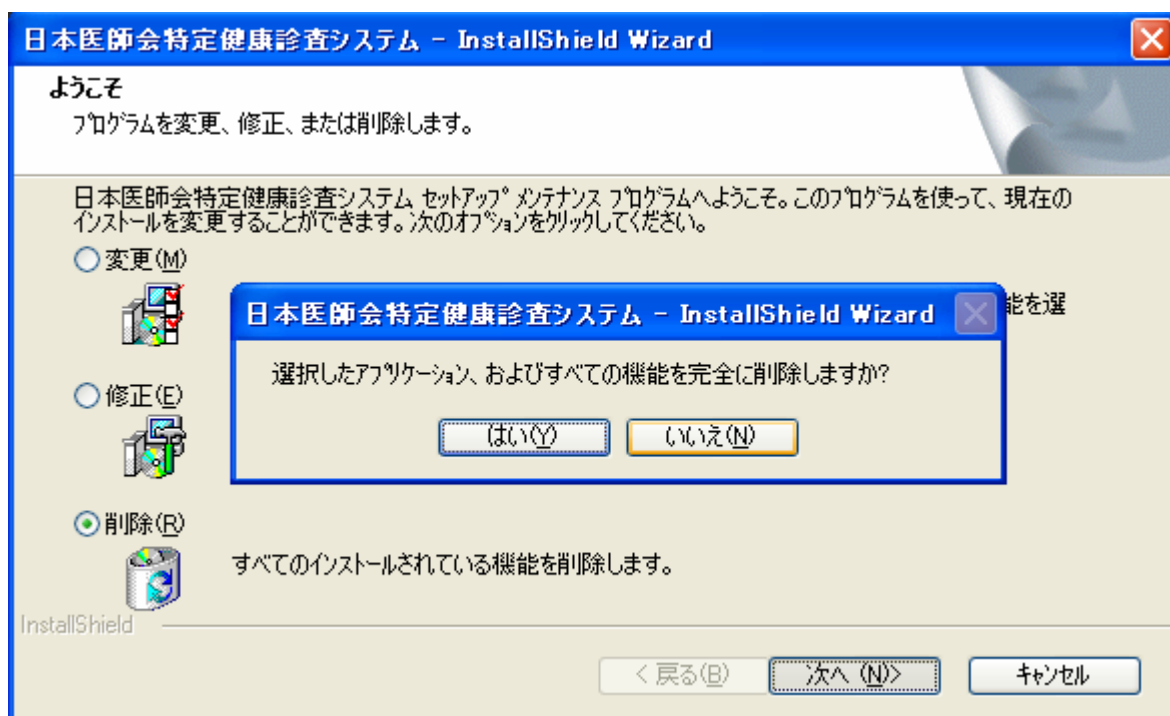
修復を選択した場合、即座に修復インストールされます。



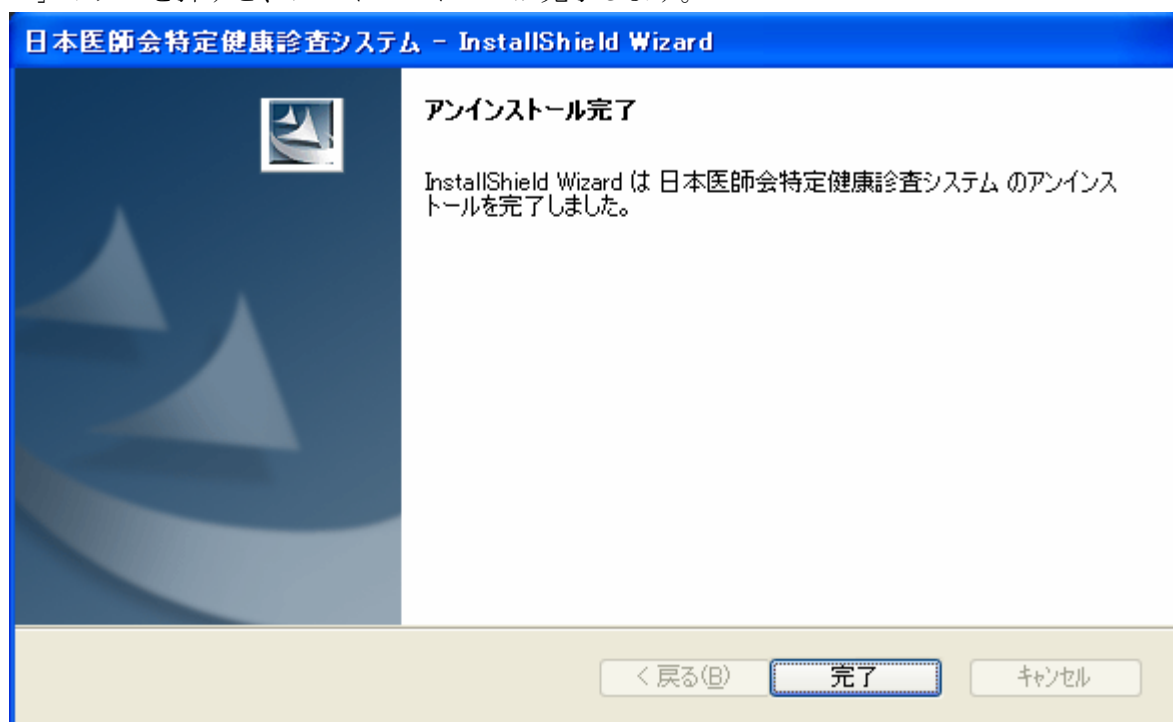
削除を選択した場合、日本医師会特定健康診査システムはシステムよりアンインストールされます。



削除を開始するためには、「はい」 ボタンを押します。



「はい」 ボタンを押すと、アンインストールが完了します。

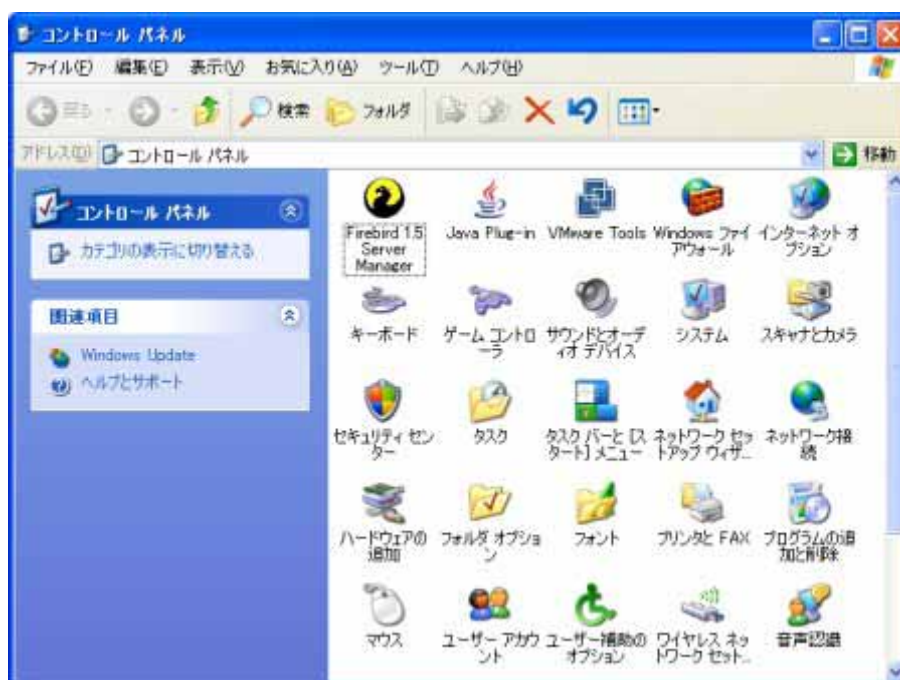


なお、アンインストールの過程で、バックアップフォルダと DB フォルダに関しては自動では削除されませんので、完全に削除したい場合は手動削除となります。あらかじめご了承ください。

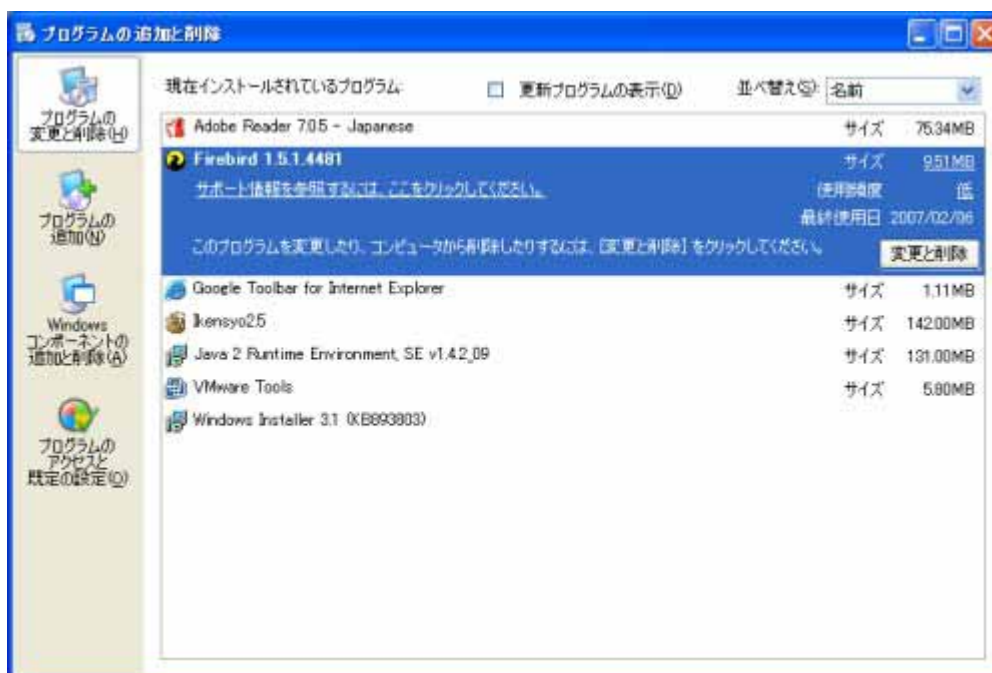
1.3.2.Firebird 1.5/1.0 のアンインストール

以下の手順は、医見書・給管鳥などの Firebird 1.5 を医療したアプリケーションを使用している場合のみに必要な作業です。Firebird がインストールされていない環境であれば、このセクションを飛ばして次のセクションを参照してください。

スタートメニューから、「設定」→「コントロールパネル」を開きます。



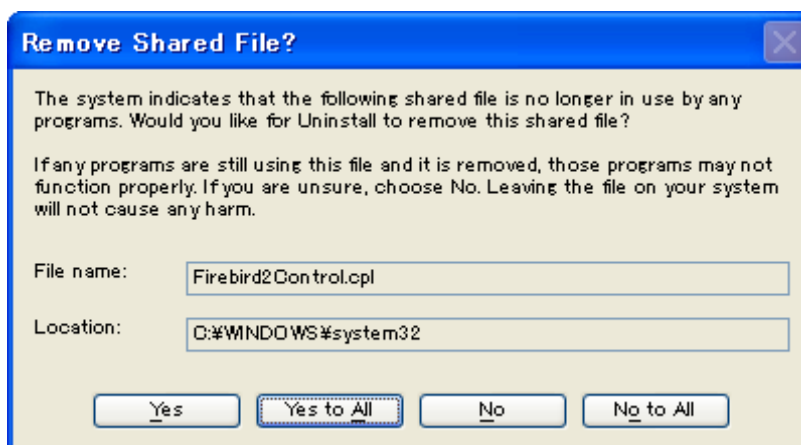
「プログラムの追加と削除」を開き、「Firebird 1.5」等の Firebird データベースの項目がありすでにインストールされているようであれば、Firebird 1.5 等を選択し、「変更と削除」ボタンを押してください。



Firebird の削除を確認するダイアログが出ますので、「はい」を選択してください。



ライブラリ等の削除を求められますので、「Yes to All」を選択してください。



以下のような表示が出れば、Firebird のアンインストールに成功しています。これで、Firebird のアンインストールについては完了しました。

